



各 位

会 社 名 日本曹達株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 杵渕 裕  
(コード番号4041 東証第一部)  
問 合 せ 先 総務・法務グループリーダー  
丸 本 柳 太  
(Tel.03-3245-6053)

## 新中期経営計画（2013年～2016年）について - 「Chemigress to 100」（ステージⅡ） -

今般、当社は2013年度から2016年度までの4カ年を対象期間とした新中期経営計画を策定いたしました。策定に際しては、新中期経営計画を、創業100周年（2020年）を見据えた長期経営ビジョン【Chemigress to 100】達成のための第二ステップと位置付け、企業価値向上の取り組みを加速させてまいります。以下にその概要をお知らせいたします。

### I. 前中期経営計画（2010年度～2012年度）をふりかえって

前中期経営計画では、「Chemigress to 100」のステージⅠとして、成長曲線への軌道化を図るべく、既存・周辺事業の拡充を機軸に選択と集中を進める中で、新たな成長ドライバーの育成のため、必要な経営資源を積極的に投入してまいりました。

具体的には、韓国に農薬製造合弁会社を設立したほか、中国のファインケミカル製造会社への資本参加、フランスの金属ソーダ製造会社の買収等、将来に繋がる投資を着実に実行いたしました。さらには事業基盤強化のため、人事制度の改革、製造子会社2社の統合などを実行いたしました。しかしながら、欧州債務問題に起因する世界経済の低迷や中国をはじめとするアジア経済の減速、円高による輸出採算の悪化などにより売上高及び営業利益は目標を下回りました。但し持分法適用関係会社の業績が好調に推移したことから、経常利益・当期純利益は目標を上回ることができました。

今後も「Chemigress to 100」で定めた目指すべき姿に向け、新たに策定する2016年度までの新中期計画に基づき事業運営を行ってまいります。

・2012年度収支（連結）

（単位：億円）

	前中期計画目標	実績
売上高	1,500	1,275
営業利益	70	40
経常利益	80	83
当期純利益	50	53

## II. 新中期経営計画（2013年度～2016年度）

### 1) 基本方針

1. 創業100周年に向けて、本中期経営計画を「Chemigress to 100(長期経営ビジョン)」達成のための第二ステップ(ステージⅡ)と位置付け、長期目標に向け成長スピードを加速させる。
2. 前中期からの課題を確実に遂行し収益へ繋げると同時に、さらに成長ドライバーを拡充するため、M&Aや事業提携等も視野に、必要な経営資源を積極的に投入する。

### 2) 数値計画・目標（連結）

(単位：億円)

	2013年度計画	2016年度目標	2020年目標 【参考】
売上高	1,340	1,600	2,000
営業利益	54	100	200
経常利益	76	120	
当期純利益	58	90	100

### 3) 重点施策

#### 1. 成長ドライバーの拡充

農業化学品事業、セルロース誘導体事業、機能性ポリマー事業を注力すべきカテゴリーと位置付け、経営資源を優先的に配分し、事業の拡大発展を目指します。加えて、今後の飛躍が期待される顕色剤事業、金属ソーダ事業、エコケア・バイオサイド事業については、育成事業として新製品の開発、周辺分野への拡大を進めてまいります。また、将来に向け、特色ある当社保有技術の活用による新分野への進出も検討してまいります。なお、これらの施策実行においては自社開発だけでなく、M&Aや外部との事業提携も視野に入れ、特に当社事業とのシナジー効果が期待できる案件については積極的に対応してまいります。

- ①農業化学品事業
  - ・ 基幹製品の競争力強化と拡販
  - ・ 新農薬(自社開発および導入)の開発促進と早期上市
  - ・ 農業関連周辺分野への事業展開
- ②セルロース誘導体事業
  - ・ 基幹製品の拡販と周辺分野への事業展開
- ③機能性ポリマー事業
  - ・ 既存製品の拡販・新用途開発促進及び生産体制構築
- ④育成事業 他
  - ・ 新規顕色剤の上市、金属ソーダ関連事業の拡大、エコケア・バイオサイド事業の新製品開発
  - ・ 特色ある当社保有技術を活用した新規分野への進出
- ⑤M&A、事業提携
  - ・ M&Aや外部との事業提携を通じた業容の拡大

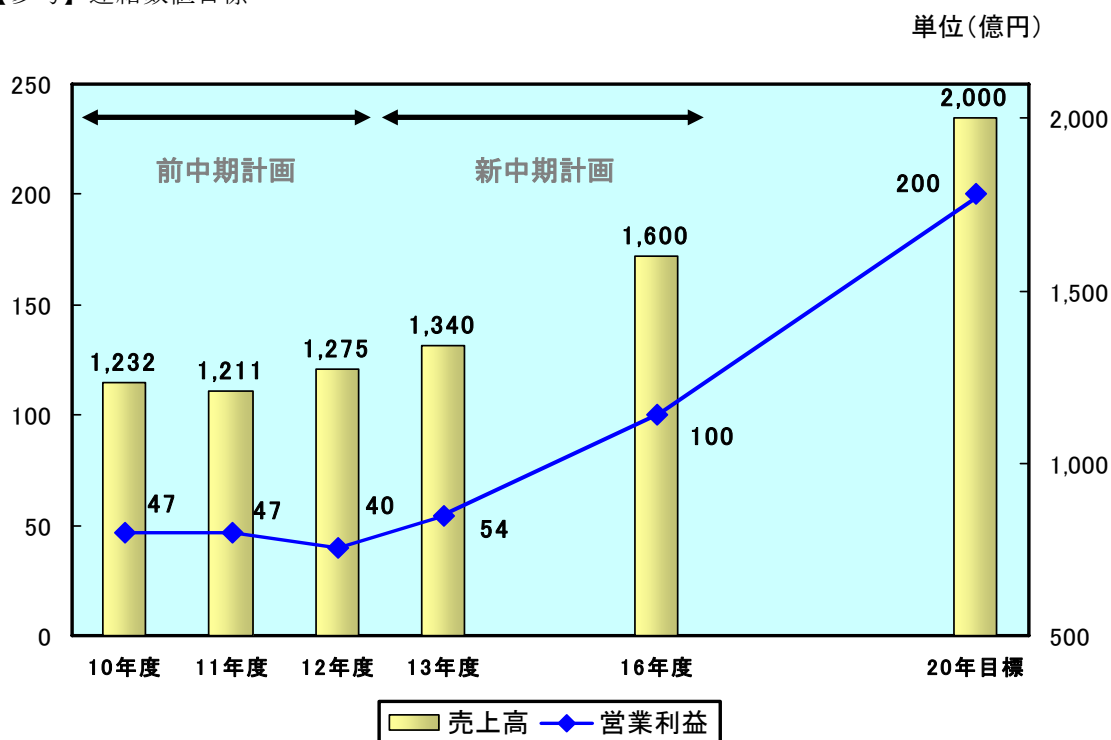
## 2. 事業基盤の強化及び再構築

競争力を維持するために必要な製造部門のコストダウンなどの事業基盤強化策を実行いたします。競争力の低下がみられる事業については、抜本的な対策による収益改善策を立案・実行いたします。また、管理部門の効率運営やグローバル化に対応した人材の育成などにも取り組んでまいります。

## 3. グループ総合力の向上

前述の重点施策の遂行にあたっては、グループ各社との連携を強化し、グループ経営資源の有効活用により一体的・総合的な運営を行ってまいります。

### 【参考】 連結数値目標



※【Chemigress】とは、ChemicalとProgressからなる造語で、「創業100周年に向け、当社グループの生み出す化学を中心とする事業によって、健全な社会の発展に寄与したい」という思いを伝えるものです。

以上